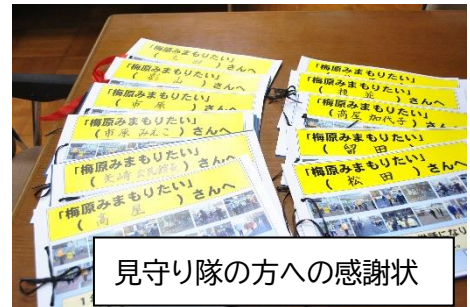


## 感謝

寒さがやわらぎ、春の訪れを感じる3月。学校の3月は、別れの3月でもあります。年度の終わりを迎え、それぞれの学年の修了を迎えます。6年生は、小学生としての6年間を終え、卒業を迎えます。春の訪れ、その暖かさや草木の芽吹きは、1年間の成長を祝うかのようです。

学年末は、1年を振り返る時期でもあります。子どもたちの1年は、大人よりも大きな変化があると感じています。今まで届かなかった所に手が届く体の変化や、1年前には知らなかった漢字を使って文を書けるようになる学習面の変化、家事の手伝いを進んでするようになるという行動面の変化など、たくさんの、そして大きな変化があったことを、子どもたち自身にぜひ気付かせたいものです。この『変化』を生み出した要因の一つは、自分自身の頑張りです。自分が頑張ったことで、自分が成長できることに気付けることは、次の頑張りへの大きな自信と意欲につながることでしょう。

一方で、その変化は、自分一人でできたことではないことにも気付かせたいです。体の変化にしても、家庭で自分を養ってくださった方々のおかげであること、学習面での変化にしても、教えてくださった方々のおかげであること、行動面での変化にしても、自分と関わってくださった方々のおかげであること、そこに気付いてほしいと願っています。その気付きが、自分を支えてくださっている他者の存在の気付きとなり、「おかげさま」「感謝」の思いにつながります。



見守り隊の方への感謝状

「恩送り」という言葉があります。これは、自分がしていただいたことを、その人に返すのではなく、他の誰かのために行うということだそうです。「恩返し」は基本的に恩をくださった方にお返しする「一対一」のやり取りです。対して、恩送りは一つの優しさや助けを受けたとしても、その喜びや感謝を渡す人数に上限はありません。誰かからの恩送りを受け取った相手が、同じように何人もの人々に恩送りをしたら・・・そのあたたかな恩のバトンは次々と無限の広がりを見せていくのです。



6年生を送る会

このようにすると「おかげさま」「感謝」の思いは、自分を変えるために、また、他の人が変わるためにと広がっていきます。1年の自分の変化を振り返ることが、これからの自分の、そして他の人の変化につながっていけばと願っています。

保護者の皆様には、この1年間、たくさんのご理解とご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。地域の皆様におかれましては、いつも梅原小学校の子どもたちを見守り、ご協力やご支援をいただきましたことに深く感謝しております。本当にありがとうございました。25日から春季休業に入ります。1年間の成長を振り返りながら、次学年の目標や希望について語り合い、準備をしていただければと思います。また、交通事故にも十分に注意して過ごし、令和5年度の新学期には元気いっぱいの挨拶と笑顔で登校してくれることを職員一同楽しみにしております。